

6月28日からの大雨等に係る 北海道災害対策連絡本部員会議 概要

北海道総務部危機対策局危機対策課

- ・日時 令和4年(2022年)6月29日(水) 19:00～19:20
- ・場所 北海道庁3階テレビ会議室
※ 後志・日高・渡島・檜山・上川(総合)振興局及び東京事務所とテレビ会議を
接続

1 開会(副部長:浦本副知事)

これより、令和4年6月28日からの大雨に係る北海道災害対策連絡本部員会議を開催する。

2 状況報告

(副部長:浦本副知事)

昨日からの大雨により、各地で気象警報が発令され、被害も確認されているところ。引き続き、警戒が必要な状況である。

まず、札幌管区気象台から、今後の気象見込みについて、ご説明をいただく。

(1) 気象状況(札幌管区気象台:気象防災情報調整官)

<気象状況について、資料に沿って説明>

(2) 被害状況等(危機管理監)

<資料に沿って報告>

- ・まず、「1 気象警報等の発表状況」について、大雨警報が後志・渡島・檜山の3振興局、洪水警報が日高・檜山の2振興局で発表されている。
- ・次に、「2 被害状況」についてであるが、ペーパン川の越水により、旭川市で床上浸水が2棟発生している。これにより6名の方が救助されたが、怪我等はなく、人的被害は生じていない。
- ・その他、檜山管内せたな町の丸山川の溢水が発生しているが、人的被害や住家被害は発生していない。
- ・避難等の状況についてであるが、檜山管内江差町で本日14時15分、4つの地区あわせて322世帯653人を対象に、また、厚沢部町で16時45分、332世帯604人を対象に、それぞれ避難指示が発令されている。
- ・また、避難所の開設状況については、先ほどのペーパン川の越水の影響により旭川市に1箇所、江差町に3箇所、乙部町に1箇所、厚沢部町に1箇所、あわせて6箇所の避難所が開設されている。
- ・その他、ライフラインや休校の状況についてはお手元の資料(6)、(7)に記載のとおりである。

- ・道では、こうした状況を踏まえ、本庁及び関係する5つの振興局と東京事務所に、本日16時00分、災害対策連絡本部を設置した。
- ・また、市町村においては、江差町と乙部町において災害対策本部が設置されている。

(3) 連絡本部各班等報告

ア 北海道建設部（建設部長）

- ・公共土木施設の被害状況等について、お知らせする。
- ・まず、河川の被害状況等について、17時現在で、旭川市のペーパン川、せたな町の丸山川の2河川で、溢水による浸水被害が発生している。
- ・特にペーパン川については、平成30年に災害を受けた箇所のうち、まだ整備が完了していないところからの溢水により、床上浸水2棟、畑の浸水3ヘクタールとなっている状況。
- ・また、17時現在、檜山管内の厚沢部川や日高管内の静内川など5河川で水防警報を発表している。
- ・続いて、道道の被災状況については、八雲町の八雲北檜山線で路肩が一部崩壊しており、現在、その部分については、片側の交互通行となっている。
- ・また今後も、先ほど気象台からの発表があったが、日本海側南部・太平洋側西部などにおいて、激しい雨が予想されていることから、道路状況や河川水位の状況等に注視してまいり所存。

イ 北海道檜山振興局（振興局長）

- ・檜山管内の状況について、報告する。
- ・昨日からの大雨により、管内の複数の河川で水位が上昇しているが、特に厚沢部川において、洪水被害の可能性が高まってきていることから、本日午後、危機管理監からも報告があったが、流域の江差町・厚沢部町の両町から対象となる住民の皆様へ避難指示を発出するとともに、避難所への早めの避難を呼びかけるなど、人命最優先の対応を行っているところ。
- ・振興局としては引き続き、江差町・厚沢部町の両町始め、管内各町との連携のもとで、高い警戒態勢を確保していくとともに避難所の運営などを含め、各町への必要な支援を行ってまいりたいと考えている。

ウ 北海道上川総合振興局長（振興局長）

- ・上川管内の被害状況について報告する。
- ・まず、振興局の対応について、昨日21時10分に管内に警報が発表されたことに伴い第1非常配備体制を取り、庁内及び関係機関との情報収集、連絡体制を整え、対応に当たってきたところ。
- ・管内の被害状況について、先ほどの全道の被害報の報告にあつたとおり、旭川市内の道の管理河川であるペーパン川が越水し、床上浸水2棟が発生し、住居被害のあった2世帯6名の住民の方々については、地元消防が救助を行い、本日7時8分に旭川市が設置した避難所である「ぴあふる岩山」に避難を完了した。
- ・このうち1世帯2名の方はその後、親戚のお宅に移動され、避難所に残っていた4名の方についても17時15分に親戚のお宅に移動されたことから、避難所を同時

刻に閉鎖している。

- また、浸水地域の近隣に居住している 1 世帯 2 名の方が 11 時頃に自家用車で避難され、16 時頃まで自家用車で待機した後に自宅の安全を確認され帰宅しているところ。
- 先ほど、危機管理監からご報告があったとおり、避難された方々に怪我はなく、人的被害は確認されていない。
- 次にペーパン川の越水状況について、ペーパン川は平成 30 年に豪雨により、図面の水色で示しているエリアで浸水被害を受け、現在その改修工事を進めているところ。
- 今回の浸水箇所はその改修工事が行われていない箇所、図面の赤色で示した 2 カ所で氾濫したところ。
- 私も、本日午前中に直ちに現地の確認を行い、旭川開発建設部からもリエゾンの派遣を受け、土のうの設置やポンプによる排水など、国と連携しながら、応急復旧を進めているところ。
- また、今回の災害対応に当たり、出張中の職員が公用スマホで情報共有を行ったほか、管理職員の深夜の待機時に在宅ワークを行うなど、スマート道庁の活用も行ったところ。
- 上川総合振興局としましては、引き続き、高い警戒感を持ち、情報収集にあたり、住民の皆様の安全確保に全力を尽くしてまいりたいと考えています。

3 対策指示（本部長：鈴木知事）

- 札幌管区气象台から、今後の気象の見通しについて、ご説明をいただいた。感謝する。
- 本道は、昨日からの大雨により、檜山管内、そして、上川管内において、河川の溢水や住家の床上浸水が発生している。これから明日にかけても、激しい雨が降ることが予想され、土砂災害や河川の氾濫に警戒が必要な状況にある。
- 既に檜山管内の江差町や厚沢部町では、住民の皆様に対し避難指示が発令されている。他の市町村にも広がる恐れがあることから、被害情報の迅速な収集、そして、共有等を図るため、本日、16 時をもって、「北海道災害対策連絡本部」を設置し、警戒態勢を敷いたところである。
- 道民の皆様におかれては、今後、気象情報をこまめにご確認のうえ、身の安全を確保していただくとともに市町村から発令される避難情報に十分留意され、早め早めの避難をお願いします。
- また、報道機関の皆様におかれても、大雨や避難に関する情報について、道民の皆様に広くお知らせいただくよう、引き続きご協力をお願いしたい。
- 各本部員におかれては、人命最優先のもと、被害を最小限のものに抑えるため、地元市町村並びに防災関係機関の皆様と連携・協力し、災害応急対策に万全を期すよう指示する。

4 閉会（副部長：浦本副知事）

各本部員におかれては、ただいまの本部長の指示について、対応をお願いします。以上をもって、北海道災害対策連絡本部員会議を終了する。